

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月に開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
お問合せ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324 (フリーダイヤル)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 (トラストオフィスを除く) みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
公告方法	当社ホームページ (http://www.tn-sanso.co.jp) に掲載します。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所
証券コード	4091
単元株式数	1,000株

## 中間報告書

自平成23年4月1日 至平成23年9月30日

第 8 期

### 株主の皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、

アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4091

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、  
いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールにより  
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも  
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、  
右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



〒142-8558 東京都品川区小山1-3-26  
TEL (03) 5788-8000 (大代表)  
<http://www.tn-sanso.co.jp>

大陽日酸株式会社

# 企業理念

## 進取と共創。ガスで未来を拓く。

- 行動指針** 私たちは、  
**進取** あなたの声を敏感にとらえ、  
**共創** ガステクノロジーを通じて、あらゆる産業と共に、  
**未来** 豊かな社会の実現に貢献します。
- スローガン** **The Gas Professionals**  
 産業ガスのプロ集団になる、そして業界でNo.1のプロ、  
 第一人者であることを目指します。

### シンボルマーク



**大陽日酸**  
The Gas Professionals

最先端の技術と自然の融合、そして酸素、窒素、アルゴンなど高度なガスコントロール技術で創り上げる「大陽日酸」の企業ドメインを象徴するこのシンボルは、高品質でクリーンな透明感のある、明るい未来への広がりを表現しています。

### 目次

- 企業理念 ..... 1
- 株主の皆様へ ..... 2
- 製品別の動向（連結） ..... 3
- 連結財務諸表 ..... 4
- トピックス・節電への取組み ..... 5,6
- 事業紹介（医療関連） ..... 7,8
- 会社概要 ..... 9
- 役員 ..... 9
- 株式の状況 ..... 10
- 株価および売買高の推移 ..... 10

## ● 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より当社の事業運営に格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、このたびの東日本大震災により被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。さて、平成24年3月期第2四半期を終了いたしましたので、その概況をご報告いたします。

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）における世界経済は、米国経済の減速傾向継続、欧州の財政危機問題深刻化などに加えて、中国及び新興国市場でも経済成長がやや鈍化するなど、全般に景気後退懸念が強まりました。一方、わが国経済は、本年3月に発生した東日本大震災による被害からの復旧、復興を推進するなかで、電力供給問題、急激な円高による輸出減退、製造業の海外移転の加速など懸念すべき問題も多く、先行き不透明な状況で推移いたしております。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高2,347億99百万円（前年同期比1.1%減少）、営業利益157億74百万円（同12.5%減少）、経常利益160億5百万円（同10.3%減少）、四半期純利益84億14百万円（同17.7%減少）となりました。

上記業績に基づき、当期の中間配当につきましては、前期同様1株につき6円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、当社に対しまして引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

代表取締役社長

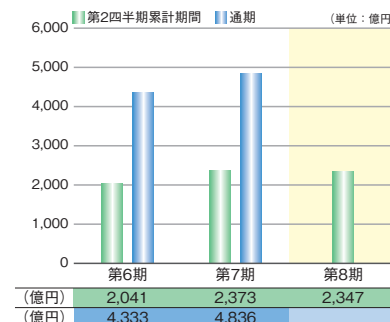
川口恭史



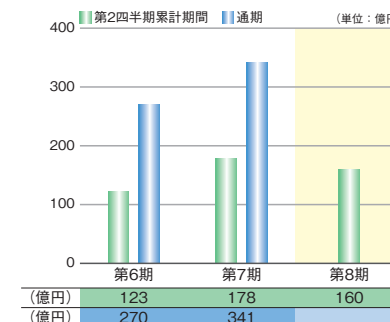
代表取締役会長  
松枝寛祐

代表取締役社長  
川口恭史

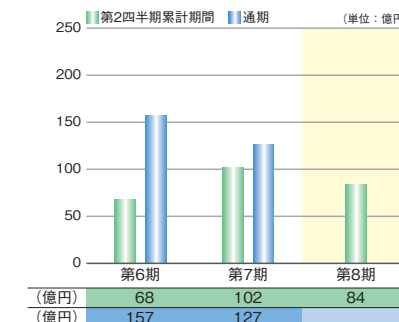
### ■ 売上高



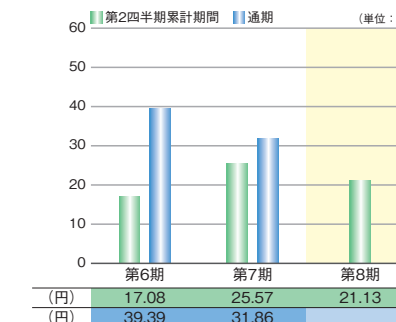
### ■ 経常利益



### ■ 四半期（当期）純利益



### ■ 1株当たり四半期（当期）純利益



## 製品別の動向（連結）

### ■産業ガス関連事業

主要関連業界である鉄鋼・化学産業等の需要は、大震災の影響による期初の急激な落ち込みから徐々に回復傾向を辿りましたものの、酸素・窒素・アルゴンの売上高は前年同期をやや下回りました。機器・装置については、溶断機器・材料は国内を中心に前年同期を上回りましたが、空気分離装置などの機械装置は、大型設備投資需要の減退に伴い売上高は前年同期を大幅に下回りました。海外においては、前期に北米で実施したM&Aの業績への寄与もあり、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、産業ガス関連事業の売上高は、1,446億8百万円（前年同期比1.1%増加）、営業利益は111億55百万円（同0.9%増加）となりました。

### ■エレクトロニクス関連事業

エレクトロニクス産業は、大震災の影響や急激な円高もあって、半導体、液晶パネル等の主要メーカーの稼働率が低下したため、電子材料ガスの国内出荷は前年同期を下回りましたが、韓国、台湾、中国での堅調な需要に支えられ、電子材料ガスの売上高は前年同期をやや上回りました。一方、電子関連機器・工事は、設備投資需要の減退により、売上高は前年同期比で減少し、また半導体製造装置も韓国、台湾で受注実績を上げつつあるものの、主力の国内ユーザーの設備投資計画の見直しや先送りなどにより、売上高は大幅に減少いたしました。

以上の結果、エレクトロニクス関連事業の売上高は、561億79百万円（前年同期比9.0%減少）、営業利益は31億46百万円（同39.7%減少）となりました。

### ■エネルギー関連事業

LPガスは、出荷数量は減少したものの、輸入価格は引き続き高水準で推移しており売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、エネルギー関連事業の売上高は、177億48百万円（前年同期比6.3%増加）、営業利益は6億60百万円（同40.2%増加）となりました。

### ■その他事業

メディカル関連事業では、大震災に際してはグループを挙げて医療用酸素の安定供給に努めました。医療関連機器は、在宅を中心に好調に推移したことから、売上高は前年同期を上回りました。サーモス事業の売上高は、前年同期に比べ減少となりました。

以上の結果、その他事業の売上高は、162億63百万円（前年同期比2.3%増加）、営業利益は15億5百万円（同27.9%減少）となりました。



## 連結財務諸表

### ■連結貸借対照表【要旨】

〔当第2四半期連結会計期間末(平成23年9月30日現在)〕

(単位：百万円)

科目	金額
<b>資産の部</b>	
流動資産	196,301
固定資産	388,127
有形固定資産	253,170
無形固定資産	59,691
投資その他の資産	75,265
資産合計	584,428
<b>負債の部</b>	
流動負債	160,402
固定負債	215,935
負債合計	376,338
<b>純資産の部</b>	
株主資本	224,260
資本金	27,039
資本剰余金	44,910
利益剰余金	156,431
自己株式	△4,120
その他の包括利益累計額	△31,208
その他有価証券評価差額金	2,844
繰延ヘッジ損益	△235
為替換算調整勘定	△33,677
在外子会社の年金債務調整額	△139
少数株主持分	15,038
純資産合計	208,090
負債純資産合計	584,428

### ■連結損益計算書【要旨】

〔当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)〕

(単位：百万円)

科目	金額
売上高	234,799
売上原価	156,076
売上総利益	78,723
販売費及び一般管理費	62,949
営業利益	15,774
営業外収益	3,124
営業外費用	2,893
経常利益	16,005
特別利益	3,199
特別損失	5,075
税金等調整前四半期純利益	14,129
法人税、住民税及び事業税	4,317
法人税等調整額	905
法人税等合計	5,222
少数株主損益調整前四半期純利益	8,906
少数株主利益	492
四半期純利益	8,414

### ■連結キャッシュ・フロー計算書【要旨】

〔当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)〕

(単位：百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,693
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,488
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,839
現金及び現金同等物に係る換算差額	119
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20,516
現金及び現金同等物の期首残高	43,877
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	90
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,451

ベトナム北部での新工場完成

当社と株式会社巴商会とのベトナムにおける合併会社 Vietnam Japan Gas Co., Ltd.が、現地ガスメーカーと共同出資で設立した工業ガス製造子会社Northern Vietnam Japan Gas Joint Venture Company (NVJG) の新工場が完成、ベトナム北部フイエン省第二タンロン工業団地内のNVJG工場において、開業式を開催しました。

開業式典には、ベトナム商工会議所ズン副会頭、谷崎在ベトナム日本国特命全権大使などを来賓としてお招きし、当社および巴商会幹部をはじめ約100名が出席しました。

ベトナム北部地域では、日系を中心に外資の進出が活発化しており、ガス需要の拡大が期待されております。この度、自社ソースを確保した事により、北部地域での販売活動を更に推進させるとともに、需要家に対しては従来以上に高品質で安定的な工業ガスの供給体制が整いました。



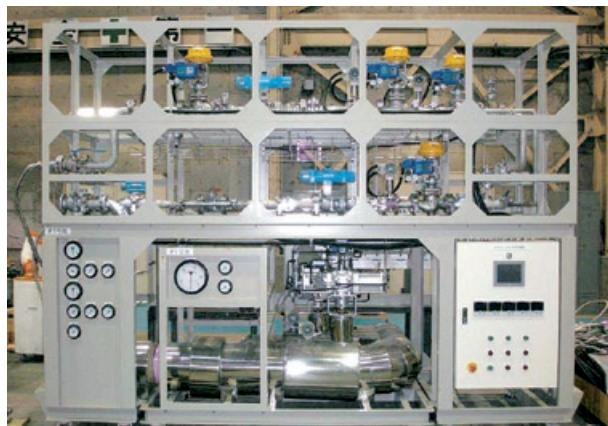
ベトナム新工場(開業式典)

超低NOx酸素富化燃焼バーナシステム「Innova-Jet」の販売を開始

当社は、高効率で、かつNOx(窒素酸化物)排出量を抑制する革新的な強制振動燃焼方法の開発により、省エネルギーと炭酸ガス排出削減に貢献する超低NOx酸素富化燃焼バーナシステム「Innova-Jet」の販売を開始いたしました。

「Innova-Jet」は、燃料と酸化剤(空気および酸素)の流量を周期的に変動させることによってNOxの生成を抑制する画期的なシステムで、NOxを従来の1/20程度まで低減させることを可能にしました。

「Innova-Jet」は、加熱炉、溶解炉など、従来の酸素富化燃焼では対応できなかった高温のアプリケーションに対して適用が可能であり、省エネルギーと炭酸ガス排出削減に貢献する技術として、鉄鋼、ガラス・セラミックス分野を中心に技術の展開を進めています。



超低NOx酸素富化燃焼バーナシステムInnova-Jet外観

太陽日酸サッカー教室「セルジオサッカークリニック2011」千葉開催

当社は、社会貢献活動の一環として毎年開催している「セルジオサッカークリニック2011」千葉を9月25日(日)午前9時30分より千葉市中央区のフクダ電子スクエアにおいて、開催いたしました。今年は千葉市内のサッカークラブ所属の小学3年生と6年生、約470名の子供たちが参加しました。

講師陣は日本サッカー界で活躍されたセルジオ越後さんをはじめ、アデマール・マリーニョさん、ジュリオ上田さん、石塚将光さん、広山晴士さん、本田泰人さんにご参加いただきました。

当日は、開会式に引き続き、講師との交流試合を中心としたサッカークリニックを行い、なでしこJAPANやワールドカップを目標としたサッカー少年少女たちが会場を沸かせました。その後は3年生チームと6年生チームに分かれ、ミニサッカー大会を行い、優勝、準優勝チームにはメダルと副賞(サーモススポーツボトルなど)が授与されました。

閉会式では、表彰式と、豪華賞品が当たる恒例の抽選会を行い、子供たちにとって楽しい一日となりました。



太陽日酸サッカー教室

節電への取組み

当社は、東日本大震災による福島第一原発の事故に伴う大口需要契約の事業所に対する電力削減要請に対して、次の通り対応いたしました。

1 各所共通

- エアコン温度を28度に設定(これに伴いクール・ビズの早期実施)
- 蛍光灯の間引き、不要箇所・不要時の消灯徹底など

2 本社

- エアコンの熱源を電気式からガス式へ変更
- 早朝冷房の開始(冷房使用ピークの平準化)
- サーバーの外部移転(集約・効率化により総電力使用量を削減)

上記対策の実施により4月～9月の期間において、前年比で29%の電力使用量を削減いたしました。

3 研究所

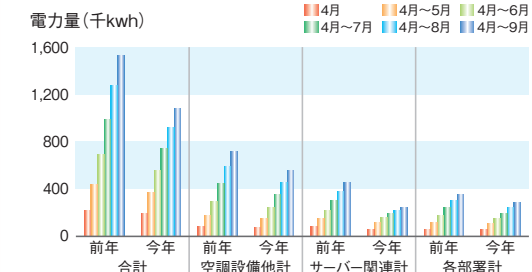
- 電力を大量に使用する実験の時間帯を調整
- 冷房設備の入替

4 工場

- 共同スキームを組んで互いの電力の融通や、減量運転を実施

また、場所によっては電力デマンド計を設置し、電力使用量の見える化を推進いたしました。電力使用量の削減については、節電要請終了後も引き続き取り組んでまいります。

本社電力量(2011年4月～9月) 累計



## 病院で、在宅医療で、大陽日酸が貢献。 私たちは、医療の分野でも活躍しています。

私たちは、高品質の医療用ガスの安定供給を行っています。

また、在宅酸素療法のためのさまざまな機器の開発・製造を行うとともに、機器の定期点検や遠隔監視システム、医療用ガスの24時間体制の緊急配送から旅行時等のサポートを通じて、トータルに患者さんのQOL (Quality Of Life) 向上に貢献しています。

同時に、医療用ガス機器のディストリビューターなどと業務提携を行い、国内のネットワークを広げています。

こうした体制を推し進める施設として千葉県稲毛区に「メディカル・テクニカル・サービスセンター」を開設しています。

ここでは、当社の持つガステクノロジーを応用し、研究用生物資源 (バイオリソース) の凍結保存をはじめとするバイオ分野、安定同位体 (SI) や特殊ガスを利用した高度診断・治療分野の研究開発等に取り組んでいます。

高品質の医療用ガスを安定供給、  
全国規模の製造・販売ネットワークを構築しています。

国内で500を超える医療機関に対して、合成空気供給システムを設置しているほか、全国に展開する産業ガスの製造・販売のネットワークにおいて医療向け専用充てん設備の構築を進めるなど、高品質の医療用ガスの安定供給を積極的に推進しています。



開発・保守点検・物流の総合拠点が、  
「メディカル・テクニカル・サービスセンター」です。

メディカル事業の中核となる「メディカル・テクニカル・サービスセンター」では、メディカル関連商品の開発・輸入から、修理・保守点検に加え、物流の効率化を推進しています。また、在宅酸素療法のためのさまざまな機器の開発・製造を行うだけでなく、遠隔監視システムの構築、医療用ガスの24時間体制の緊急配送、旅行時等のサポートを行っています。



液体窒素凍結保存容器が、  
バイオテクノロジーに貢献しています。

生命細胞、ワクチン、血液などの長期間凍結保存は、バイオテクノロジーの発展に重要な手順です。私たちは、唯一の液体窒素凍結保存容器の国産メーカーとして多種多様な製品を取り揃えています。

## ● 会社概要 (平成23年9月30日現在)

- 商号 大陽日酸株式会社  
(英文名称: TAIYO NIPPON SANSO CORPORATION)
- 創業日 明治43年10月30日
- 設立日 大正7年7月19日
- 資本金 270億3,987万7,254円
- 従業員数 連結: 10,424名  
単体: 1,412名
- 本社 〒142-8558  
東京都品川区小山一丁目3番26号  
TEL03-5788-8000
- 支社 東北支社、北関東支社  
関東支社、中部支社  
関西支社、中四国支社  
九州支社
- 事業所 京浜事業所、川崎事業所  
つくば事業所、山梨事業所  
川崎水江事業所
- 関係会社 連結子会社: 75社  
持分法適用会社: 27社  
非連結・持分法非適用会社: 181社

## ● 役員 (平成23年9月30日現在)

- 代表取締役会長 松 枝 寛 祐
- 代表取締役社長 川 口 恭 史
- 代表取締役副社長 原 文 雄
- 取締役相談役 於 勢 好之輔
- 取締役相談役 田 口 博
- 専務取締役 粕 谷 顯 一
- 専務取締役 田 邊 信 司
- 専務取締役 間 邦 司
- 専務取締役 丸 山 忠 重
- 常務取締役 山 野 佳 員
- 常務取締役 谷 野 正 幸
- 常務取締役 市 原 裕 史 郎
- 常務取締役 天 田 茂
- ※1 取締役(非常勤) 富 澤 龍 一
- 取締役(非常勤) ウィリアム・クロール
- 常勤監査役 馬 谷 成 人
- 常勤監査役 藤 田 清
- ※2 常勤監査役 清 田 啓 一
- ※2 常勤監査役 小 山 滋

(注) 1. ※1は社外取締役であります。  
※2は社外監査役であります。  
(注) 2. 当社は、常勤監査役清田啓一氏を東京証券取引所の上場管理規程に基づき独立役員として指定し、同取引所にその旨を届け出ております。

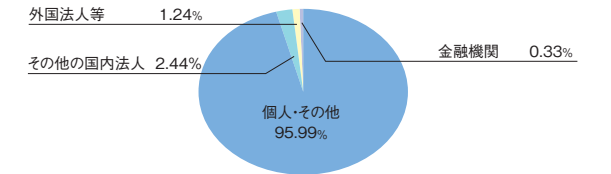
## ● 株式の状況 (平成23年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 1,600,000,000株
- 発行済株式の総数 403,092,837株
- 株主数 24,299名
- 大株主(上位10位)

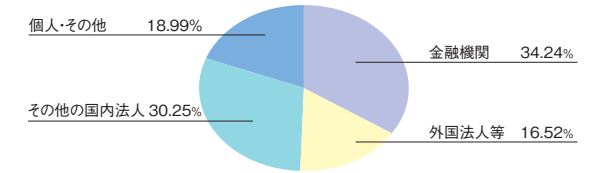
株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
	千株	%
三菱化学株式会社	60,947	15.35
JFエスチール株式会社	25,254	6.36
大陽日酸取引先持株会	18,860	4.75
明治安田生命保険相互会社	16,007	4.03
株式会社みずほコーポレート銀行	14,484	3.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,696	2.95
全国共済農業協同組合連合会	10,881	2.74
第一生命保険株式会社	10,037	2.53
農林中央金庫	10,000	2.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,989	2.01

(注) 1. 持株比率は、自己株式(6,053,923株)を控除して計算しており、また、小数点第3位を四捨五入しております。  
2. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

## ● 所有者別分布状況(株主数別) (小数点第3位を四捨五入)



## ● 所有者別分布状況(株式数別) (小数点第3位を四捨五入)



## ● 株価および売買高の推移

